

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 88	提案機関名 環境農政局農政部水産課
要望問題名 小田原漁港の新たな名物となる加工品の開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 小田原漁港では、県西地域の水産物の生産・流通の拠点としての発展を目指し、漁港西側エリアに蓄養水面、漁獲物荷さばき施設、加工処理施設が整備されている。また、令和元年11月には「小田原漁港交流促進施設」が開業予定である。同施設には、鮮魚・活魚売場や水産加工品・土産物売場のほか、飲食エリアが設けられ、水産業の振興と地域活性化の新たな拠点となることが期待されている。 そこで、交流促進施設や周辺飲食店での販売を念頭に、「北条一本ぬきカマス（通称：かます棒）」に続く新たなご当地フードを開発していただきたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 加工品の原材料は、小田原漁港で水揚げされる水産物（特に未利用・低利用魚）を活用していただきたい。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 小田原漁港で水揚げされる水産物を利用した加工品を開発する「地魚を利用した商品の生産・販売等に関する検討部会」の構成員となり、カマス棒のアレンジなど1年以内に製品化を目指す加工品の開発について、技術的助言を行います。 また、当該部会で検討された加工品のコンセプトや商品企画に基づく開発に取り組む加工業者に対して技術的な指導支援を行います。			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			